

真鶴 自治会だより

ふれあい・思いやり・たすけあい

防災防災と自治会

天災は忘れたころにやってくると言われていて。今年は本当に良く台風が襲来し、各地に災害をもたらした。真鶴も各自治会長が各地域の被害を記述しているように異常な年でした。それに加えて、新潟中越地震は日を経るに従いその悲惨さが強く感じられてきます。これから、豪雪の季節を迎えます。温暖な真鶴では図り知れない苦難の日々が続くことを思うと、慰める言葉が見つかりません。一日も早い復旧をお祈り致します。

それに伴い今度の災害から数々の教訓を得ました。この防災特集号も教訓が教訓に終わらぬように、各自治会が得た身の回りの被害を把握、反省をし、防災対策の強化に役だてたいと思います。



さが洪水を呼び、情報伝達の不備が避難誘導の遅れとなり被害を拡大する。安易な工事が崖崩れの原因となり、村落の孤立化を引き起こす等、書けば切りがありません。

真鶴町の防災対策も徐々に進み、消防団員も厳しい生業の中、防災・防犯対策に懸命に訓練を重ねて献身的な活動には心から感謝を申しあげます。防災対策の中で大切に思うことは自分勝手の手先の目的で生じる人為的な自然破壊です。住宅地造成のため木々を伐採すれば土地の保水力が減少し、一寸した雨でも雨水が奔流となり今まで心配のなかった町に被害を及ぼします。真鶴は景観の良さ、自然環境を糧に観光を基盤に、町づくりを掲げています。自然は厳しく心して守らねばなりません。

何時発生してもおかしくないとされている西神奈川地震・東海沖地震に対して早急に備えを固めなければなりません。不幸にして発生した場合、町や県・国の援助はどうしても立ち上がりが遅くなります。その間の繋ぎに自治会の相互援助こそが肝要です。先ずは自分自身の安全を守り、家族の連携、隣近所の助け合いが大切で、そして手を差し伸べるのは老・小・幼そしてハンデある人への対応です。それが出来るのは隣近所に勝るものではありません。このことが日常の自治会活動と関連し最も重要視されることです。

最近この町にも神社の費銭箱荒らしや、空き巣、更に自動販売機荒らしなど小さな犯罪を耳にします。これに対し警察も夜間パトロールの強化など被害防止に努力をしてくれています。我々住民の結束が一番の効果があると思う。年末年始にかけて不幸な事態を未然に防ぐためみんなで戸締りなど自分出来ることは自分で努力をこつこつ、向こう三軒両隣の協力を深めて行きましょう。

錦織 潔

防災訓練と非常時備えを

地震の前に、関東を直撃した大型台風が連続して日本列島を通り抜け、各地の被害、記録的な大雨を受けた後だけに、住民の不安はなおさら募りました。

真鶴地域では大きな地震の影響はなく、安心しています。しかしわれわれの身にもいつ降り掛かるかわかりません。

特にいつ起こってもおかしくないとされる東海地震には、一層の警戒が必要で、あらためて、防災意識の高揚が求められています。しかし現実には多くの住民には、防災意識に欠けている実態があります。

私たちの地域では、自主防災訓練を行っています。大震災が起きる前に「自分たちの街は自分たちで守る」という地域ぐるみの協力体制が必要で、そのためには日ごろから自主防災訓練で住民相互の連携を図り、応急処置など最低のことを自分たちでできるようにしておく対応力が求められます。

最近の大型台風や新潟中越地震、特に神奈川は、神縄、国府津、松田、伊勢原断層など数十本を抱えており、全国でも有数の活断層が多い地域です。で、即応できる態勢を整えられるか、学ぶ教訓が多い。

地域の自主防災訓練に積極的に参加し、非常時の備えを心掛けておくことが大切だと思います。

「非常時に役立つ物」ばんそうこう・ガーゼ・包帯の入った救急バック常備又「意外と役立つ物」ビニール袋・新聞紙・三角巾 です。

いざという時に正しい判断ができるためにも、とにかく!!慌てない!!ことが何よりも大切です。

城北自治会

関浦 勝美

台風にもなると

今年は台風の数が大変多く、日本全国に多大な被害をもたらした。

真鶴町も被害があった10月9日の台風22号で雨量はそれほど多くなかったが、私は用事があり車で4時30分すぎ家を出て魚座方面に向かう途中、金川水産の前で一瞬強風で車が横転するかと思った。

横を見ると、しとどの窟の梅の木が倒れた。

瞬間風速30M以上あったと思う(?) 仲地区の向山又西ノ神の正源山など樹木が多い所の被害が少なかった。港西地区の真鶴港の中も波が高かったが被害がなくほっとした。

石の広場では桜の木が多く倒れていた。旧サボテン公園の海側も大変被害があったと聞きました。

10月20日の台風は豪雨で西自治会も急斜面の多い土地が崖くずれも少しあったが、家屋の被害はなかった。他の自治会では側溝があふれて被害があったと聞いた。

地震とちがって台風は、事前にラジオやその他の情報で把握できるので、風台風の時は家の廻りを見て風で飛ばされる物は片付け、雨台風の時は側溝など水を良くするとかで隣り近所の被害を少なくできる。

台風で被害を受けた人達の一時避難場所を町の放送で流したと聞き、大変良いことだと思った。



西自治会

橋本昭弘

災害に対する心掛け

九月、私達自治会に、二時頃不審火が発生した。大さわぎしている時に、駅前より海岸までの間、七件の放火が起きた。なんてひどい事をする人がいるものだ。

その犯人をつかまえるために、消防団員が一丸となり、夕方より夜おそくまで町内を巡回して下さったのは、本当に御苦労様でした。心より御礼申し上げます。

又、十月には、新潟県中越地方で発生した震度7の地震で、大勢の方々が震災にあい、大きな打撃を受けた方々に、あらためて御見舞い申し上げます。

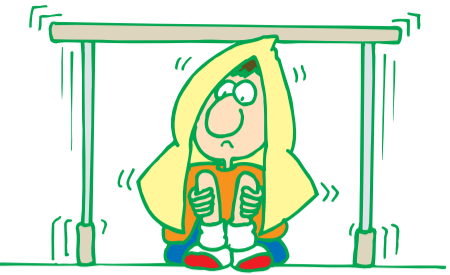
又、神奈川県でも、いつ起きてもおかしくない神奈川県西部地震に備えて組織の強化をはかり、自主防災活動の対策を心掛け、地域とのコミュニケーションを深めて、いざという時には自分の身は自分で守り、自分達の町は自分達で守る様、常に心の準備が必要ではないでしょうか。

九月三日防災の日に備えて、危険な場所を組長さんに募ったところ、一ヶ所もないとの返事でした。

もし地震が発生したら、山を背負っている城址公園が一番危険な場所。特に崖くずれに注意し、ただちに遠ざかる様心掛けておきたいところだ。

地域の防災力を高めるには、日頃からの備えと、コミュニケーションが大切ではないでしょうか。

城口自治会 青木美喜男



被害予想と今後の問題

丸山自治会管内に於いて 危険箇所および損害発生予想箇所としては、今一番深刻なのは水害と思われる。駅裏総合開発(湯河原町含む)に於いて、

降雨による水害 郵便局前より大ケ窪にかけて上下水管理設工したにもかかわらず、排水出来ずに(町の設計では余裕をもって設計していると談)集中豪雨のように短時間で降った雨では、例外と関係者は言っているが・・・(設計に問題あるのではとの声も多い)

流れ出た水による床上・床下 浸水損害があげられる。現状 丸山自治会広域避難場所である小田原百貨店駐車場、地主さんの好意で借用している防犯倉庫・および屋台小屋の裏山が 前回の台風22号により土砂崩れを少し起こしている。(今後大きな土砂崩れになる可能性大きい)

防災倉庫と言う場所柄、今後早急に検討していく必要がある。行政等の協力も必要であり、協力者の理解を求めている。

丸山自治会 飯塚 潔

災害と犯罪

今年記録づくめの年だった。夏の猛暑、台風の上陸、豪雨、地震等々、日本列島各地で大きな災害が発生した。

真鶴半島も十月九日、記録的な強風に見舞われた。みさき地区の半島公園線添いの家屋が、軒並み屋根を吹き飛ばされ、至る所で大木が倒れる大きな被害を目の当たりに見て、自然の力の恐ろしさを痛感した。幸いにも人的な被害は無く本当に良かった。

今年も残り少ない、犯罪の多発する時期。毎日、新聞・テレビでさまざまな犯罪が報道される。最近私の隣の家

に「オレオレ」の電話があったと、後日話を聞いた。幸いにも主人の適切な対応でこと無きを得たが、私達の身近でこのような犯罪がおきている事を肝に銘じて、近隣どうし何時も声を掛け合い、犯罪の防止に心掛けるよう、お互い努力しましょう。

みさき自治会 保坂英男

自然災害の恐ろしさ

今年記録的な猛暑が続いたが、同時に台風や豪雨の当たり年。

新潟県中越地震での大きな被害、台風22号・23号による身近での災害。

海岸の断崖においての岩盤は天災に強いと云われていますが、倒木によりがけ崩れが発生し、岩石が落下する被害が発生したり。

又、海岸の砂浜は一晚にして地形が変化する。日常生活では考えられない自然の恐ろしさを感じます。

ふだん道路をなげなく歩いたり車で通過していますが、自動販売機が場所によっては土地ぎりぎり設置されている。

もし地震が起きたらどうなるかな・・・高齢化社会となり、どこでもお年寄りが多くなっているが、災害が起きた時は隣近所に声をかけ避難するのが重要ではないでしょうか。

小学校の統廃合により岩小学校は平成17年3月に終了しますが、避難場所として震災に備え跡地を防災拠点に指定し、防火倉庫の設置を従来通り継続して行くよう必要ではないかと思えます。

岩中央自治会 朝倉正晴

台風の被害を見て

近年にない台風の多い年である。台風22号では、建物被害では屋根が飛び、トタンがはがれて風に飛ばされ、その家だけでなく近所の家まで、トタン・材木が当たりガラスが割れ、被害を受けてしまった。

私の家でも、ベランダ「ゴミ」がつまり、水がたまり、家の中まで水浸しになってしまいました。

台風大雨の中、心配で自治会内を見て回りました。真鶴郵便局の裏まで行くくと、すい道から浸水。石と水がまざり、「ゴ」という音をたてて流れている。

近所では、玄関まで水が入って大騒ぎである。謡坂近くまで来ると、家の屋根が飛び、道路には植木や板切れ、トタン。とても一人では片付け切れず、近所の人に頼み片付け、なんとか車が通れるようになった。

謡坂だけでも、屋根が四軒はがれ飛んでしまった。岩海岸近く山間部では、大きな木が何本も倒れ、大変な被害である。又、半島方面では、旧サボテン園く番場浦海岸く半島遊歩道では、多くの木が倒れ、道路を倒木がふさぎ、車が通れない状況であった。

こんな時こそ、行政と住民自治会が一体となって、被害を最小限に食い止め、皆で助け合わなければいけないと思えます。

土肥道自治会 丸山友吉



防災に備えて

山ゆり自治会には防災に備えての防火倉庫が二庫あります。今年の五月までは第一倉庫が長坂の町営住宅の敷地内にありましたが、住宅の建替工事のため、現在は橋の上のサンライズポイント前の小公園内に二庫設置してあります。

倉庫の鍵は、役員五名と附近の組長さんが一年ごとの持回りで保管しております。管理は、役員五名が年二回定期的に点検しております。

備蓄物は、非常用食料・照明器具・消火器・家屋倒壊時等の人命救出用器具・負傷者搬送用担架等、僅かではあります。要望があれば私が案内説明します。

さて、会員の皆様、今年の防災訓練は町内の全自治体が一体になり、一同真中グラウンドで行う予定でしたが、雨天のため中止となりました。

しかし、災害は天候や昼夜に関係なく、いつ襲ってくるかわかりません。日常の心がまえが必要です。

中止となった当日、私達自治会役員は、役場の談話室において、机上の情報伝達訓練を行いました。地域住民の皆様方も、家族や近所の方々や常日頃会話をかわし、情報の伝達の方法や、万が一に備えての非常用食料・水・照明器具等の用意をしておかれてはと思います。

山ゆり自治会 寺山 武



災害対策